

DX推進総務WG

《目標》

業務の作業工程を見える化・最適化しつつ、ルーティン業務を自動化するRPAを導入することで、新たな人的リソースを創出し、より付加価値の高い業務へシフトする

[取組内容]

これまで職員が自ら作業していた業務について、RPAの導入によって業務の効率化を図る

- 昨年度までに試行中の事案は、実用化に向けた検証を行う
- 新規に検討する事案は、自動化の可否を含めた検討を行う

Before

職員が手作業

(例)

- ・ 職員が、帳票から手作業でシステムにデータ入力



〔職員〕

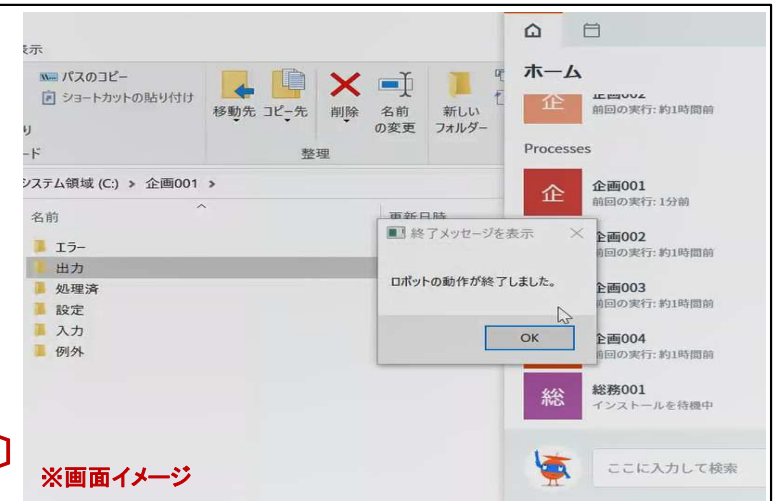
After

ロボットにより自動化

(例)

- ・ ロボットが、帳票のデータから自動でシステムにデータ入力

〔ソフトウェアロボット〕



※画面イメージ

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

自動化の検討・検証を重ねるPDCAサイクルによりRPAを実用化

試行済み事案を検証

新規事案の検討・試行

試行済み事案を検証

新規事案の検討・試行

試行済み事案を検証

新規事案の検討・試行

試行済み事案を検証

新規事案の検討・試行

R4実施目標

- ・R3に開発したソフトウェアロボットを実務において検証(研修関係事務、物品管理関係事務)
- ・自動化対象として抽出した業務についてシナリオを作成
(交付金・補助金関係事務へのRPAの導入に向けて、建政部と連携) **新規**
- ・RPA導入状況を地整間で情報共有し、他地整がRPA化した業務から試行案件を抽出することにより、効率的にRPAを実用化 **新規**
- ・R5に向けて現在の業務の棚卸し(課題の洗い出し)

R4実施計画

実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
RPAの試行: 継続案件	①ロボット完成済	実用化の検証		
	②ロボット未完成	業務フローの整理	シナリオ作成・実用化の検証	
RPAの試行: 新規案件	試行案件の抽出	業務フローの整理	シナリオ作成・実用化の検証	
WG	○ 地整間で情報共有 試行案件の抽出等	○	○	○ 試行結果検証 次年度に向けた検討
広報計画			○ 職員へのヒアリング等 による結果検証	○ R4年度検証結果 及び R5年度方針公表